

厚生・産業・企業常任委員会 県内行政調査

1 調査日 令和7年8月18日（月）

2 調査の概要

（1）辻プラスチック株式会社（東近江市五箇荘）

滋賀県では、水・環境ビジネス推進事業等により、世界の水・環境ビジネスに関する情報の提供や共有、県内企業が海外で行う実現可能性調査や実証試験の支援など、段階に応じた支援を通じて、水・環境ビジネスプロジェクトの創出を図っている。

辻プラスチック株式会社では、太陽光発電技術と最新のろ過システムを組み合わせることで、電力インフラが整備されていない地域でも安定して大量の飲料水を供給できる水浄化システムを開発し、セネガル共和国において事業展開された。この事業展開にあたっては、滋賀県の海外展開事業化モデル事業補助金が活用されるとともに、JICA留学生のインターンシップ制度が活用され、グローバルサウスへの事業展開の先進事例として注目される。

本委員会では、地元企業の海外展開を含めた地域経済の活性化を重点審議事項の一つに掲げていることから、辻プラスチック株式会社を訪問し、水環境ビジネスの海外展開について調査するとともに、JICA留学生のインターンシップ制度を活用し、セネガル共和国への事業展開で活躍された従業員の皆様との県民参画委員会を実施し、意見交換を行った。



（2）近江学園（湖南市東寺）

近江学園は、1946年（昭和21年）に、社会福祉の父と呼ばれる糸賀一雄氏らが創設した、知的障がい児等の入所施設である。基本方針として「障がいのある子どもの地域生活の実現」が掲げられ、近江学園を利用した子供やその家族が、その後も地域の一員として暮らしていけるよう支援し、地域や社会貢献を果たしている。

そうした中、築50年以上経過して老朽化していた園舎が、令和6年4月に建て替えられるとともに、同年9月にはグラウンドおよび園庭が完成し、リニューアルオープンされた。障害の程度によって生活空間が分けられ、子供たちが過ごす部屋はすべて個室化されるとともに、一部

の個室には退園後の一人暮らしも想定してお風呂やキッチンも備え付けられている。

本委員会では、将来を見据えた医療福祉の推進と共生社会づくりを重点審議事項の一つに掲げていることから、近江学園において、整備された施設の供用状況を調査した。

